

特別支援教室のお便り

11月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

一気に秋が深まってきました。各校では、いろいろな行事が行われています。「うまくいった」「予想以上に頑張った」「つらかったけど、乗り越えた」「いい思い出になった」など、子供たちは様々な思いや感じ方をしているでしょう。このどんな思いも、どんな感じ方も、子供たちの成長の大きな糧となるのはまちがいないでしょう。自分のペースで頑張る子供たちを応援したいですね。



9月より新規入室対象 保護者個人面談

12月19日(月)～12月22日(木)に、今年度9月より新規に入室された方対象の個人面談を行います。2学期のお子さんの様子や学習などについて振り返りながら、お子さんや保護者の願いやニーズ、悩みについて伺い、今後の指導や支援の方針、目標、具体的手立てなどについて話し合います。

※別紙「高四小エリア保護者個人面談日時希望調査」をご提出ください。

※9月の新規入室以外の方で個人面談をご希望される方は、その旨を日課帳等でお知らせください。

個別学習「じぶんの時間」のこと

高四小エリア各校の特別支援教室では、必ず個別学習の時間である「じぶんの時間」が設定されています。子供たちの個々の課題に取り組むことが主な内容ですが、その他に、子供と担当教員との二人っきりの「おしゃべり」も大切な時間になっています。子供からは、楽しかったことや楽しいなこと、嬉しかったこと、ちょっと嫌な出来事、困ったこと、悩んでいることなど、何でもお話してくれます。担当教員は、子供からの話を受け入れ、共感したり、一緒に考えたり、アドバイスをしたりしています。苦手なことやできるようにになりたいことを練習することもあります。子供にとっては、

「認めてもらえた」「大切にされた」

ということになります。このことは、子供たちの成長にとって非常に大きなことで、

「安心できる」「ヘルプを出せる」「チャレンジしたくなる」

という安心感、人への信頼、意欲や自信を育むことが期待できます。

子供たちにとって、あまりにも「周囲と同じように」「周囲に合わせる」ことが求められている現状で、ストレスがたまっていく恐れがあります。「自分のことを振り返る」「自分をもっと大切にする」「自分のことを理解する」時間が、ますます大切になってきます。そういう意味で個別学習のことを「じぶんの時間」という名前にしているのです。

予告 3学期保護者研修会 令和5年1月13日(金)午前10時～ 高井戸第四小学校にて
内容など詳細は、教室だより12月号でお知らせいたします。

(裏面へ)

◎小集団学習「みんなの時間」

「言葉をつなぐ活動」

- 言葉を考える。
- 言葉をつないで文章をつなぐ。
- みんなでコミュニケーションをとりながら楽しく活動する。



「相手意識をもつ活動」

- 相手の伝えたいことを推測する。
- 相手に伝わりやすい方法を考える。（他者視点に立つ。）
- みんなで楽しくコミュニケーションをとる。

「協力する活動」

- チームで声を掛け合い、協力する。
- どういうコースで行くか見通して考える。
- 手先を器用に使う。

「意見を言う、意見を受け入れる」

- 自分の考えを言葉で表現して伝えたり、友達の話の聞いたりすることができる。
- 自分と友達との考えの違いを大切に、そのことを受け入れたり、自分の考えを深めたりすることができる。
- 友達との言葉によるやり取りを楽しむことができる。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他

--